

【産直用】あさつき防除記録日誌

【2026年度】JA庄内たがわ

支所名			
組合員コード	氏名	JA確認	

播種日	月	日	収穫開始日	月	日	栽培面積（a）
-----	---	---	-------	---	---	---------

	適用病害虫名	薬剤名	希釈倍数又は 処理量	使用時期	使用回数	使用した薬剤名の欄の□に✓チェックを入 れ使用月日を記載してください。			
病 害	べと病、黒斑病、さび 病	アミスター20フロアブル	2000倍	収穫3日前まで	4回以内	☐ /	☐ /	☐ /	☐ /
	黒斑病、小菌核腐敗 病	ロブラール水和剤	1000～1500倍	収穫14日前まで	3回以内	☐ /	☐ /	☐ /	
	軟腐病、べと病	Zボルドー	500倍	—	—	☐ /	☐ /	☐ /	☐ /
	さび病	イオウフロアブル	500倍	発病前～発病初期	—	☐ /	☐ /	☐ /	☐ /
害 虫	ネギハモグリバエ	ベストガード粒剤	6kg／10a	定植時 (植溝処理土壌混和)	1回	☐ /			
	ネギハモグリバエ ネギアザミウマ	アクタラ粒剤5	6kg／10a	植付時(作条処理)	1回	☐ /			
		モスピラン粒剤	6kg／10a	植付時(植溝土壌混和)	1回	☐ /			
	ネキリムシ類	カルホス微粒剤F(劇)	6kg／10a	植付時 (土壌表面散布土壌混和处理)	2回以内	☐ /	☐ /		
	タネバエ	ダイアジノン粒剤3	5～8kg／10a	植付時(土壌混和)	合わせて 2回以内	☐ /	注意:ダイアジノン乳剤を使用 する場合は1回までの使用 となります。		
	コガネムシ類幼虫		5～10kg／10a			☐ /			
	アザミウマ類	ダイアジノン乳剤40(劇)	700～1200倍	収穫30日前まで		☐ /	☐ /	注意:植付時ダイアジノン 粒剤を使用した場合は1回 までの使用となります。	
	アブラムシ類 ネギコガ		1000倍						
	ネギハモグリバエ		1000～2000倍						
	シロイチモジヨトウ	アフーム乳剤	1000～2000倍	収穫7日前まで	3回以内	☐ /	☐ /	☐ /	
	アザミウマ類	スピノエース顆粒水和剤	2500～5000倍	収穫3日前まで	3回以内	☐ /	☐ /	☐ /	
	シロイチモジヨトウ		5000倍						

除草剤	一年生雑草	クレマート乳剤	200～400ml/10a (散布液量100～150 L/10a)	定植活着後(雑草発生前) 但し、定植10日後まで	1回 (全面土壌散布)	☐	
		トレファノサイド粒剤2.5	4～5kg/10a	定植後雑草発生前 (但し、収穫30日前まで)	2回以内 (全面土壌散布)	☐	☐

適正管理対策

1. 病害虫の発生状況・予察に留意しながら予防・発生初期防除を心がける。
2. 適正な栽培密度とし、通風・作業性の改善を図る。
3. 圃地の適正な排水管理を行う。
4. 病害虫の温床となる部分は、病害虫の発生時期を考慮し随時除去する。
5. ドリフト軽減ノズルや防葉ネット等を出来る限り使用する。
6. みつばちへの配慮を行う。

防除器具の洗浄不足対策

- ・防除器具は、前回散布後にじゅうぶん洗浄したか確認し、散布当日も薬剤調製前にもう1度通水し洗浄しましょう。
- ・防除器具は使用后、通水で3回以上洗浄しましょう。
- ・洗浄水は川や下水等に流さないようにしましょう。